

の自動化レベル。少し現実的に整理すると、この流れは“**完全に AI に置き換わる**”というより、“**人を補う形で広がる**”可能性が高いです。つまり“**命に関わる安全部分**”や“**重労働**”をAIが担うという状況です。

今後「看取り」はどうか

まだ即完全にAI任せとはなりません。理由は倫理・家族感情・文化が強く関わるからです。日本では特に**家族が関わる最期には、人がそばに**いることが**重視**されます。従って、現実的な未来像は：**AI + 人間のハイブリッド** 即ち ①日常ケアではAIが多く担う ②**最期・看取りは、人が関わる形**となります。処が「怖い未来」もゼロではないと愚考されます。条件によっては ①**家族がいない** ②**地域に人手がない** ③**財政が厳しい施設等が問題**となります。こういう環境ではAI主体の看取りに近づく可能性はあります。ここが今議論されている核心です。しかし視点を少し変えると、AI介護は「冷たいもの」だけではなく ①夜中ずっと見守ってくれる。②疲れしない。③感情的に怒らないという面もあります。つまり“**雑な人間**”よりは**優しいAI**というケースも現実にはあり得ます。

結論として、AIが介護に入るのはほぼ確実。但し**完全代替ではなく「補助」が中心**。看取りは当面、人間が関わり続ける可能性が高いと考えられるが、地域や状況で差が出る可能性もあると思われます。しかし、少し大事な問題として、このテーマの本質は実は此処です。**「人に看取られる社会」を維持するかどうかは、技術ではなく“社会の選択”にある**と考えられますが、みなさまは如何お考えですか？

幼稚園 あの子と施設 また一緒

八十路に「後でね」はない 即実行

イヤですね AI ロボットに 看取られて

令和8年 穀 雨

インフォメーション

むつみ荘 行事予定

3日(日) お誕生日会	<入所>
7日(木) 音楽療法	<入所>
21日(木) 音楽療法	<入所>
26日(火) 音楽療法	<通所>
27日(水) ビデオ鑑賞会	<入所>
18日(月)～23日(土) 誕生日週間	<通所>

こころ 行事予定

7日(木) 音楽療法
9日(土) おやつクッキング
13日(水) フラワーアレンジメント
14日(木) フラワーアレンジメント
15日(金) おやつクッキング
21日(木) 音楽療法
22日(金) ボランティア：トウガリア

5月

